

雲のうえ旅行社

28

北九州市

北九州のコレいい!



トイレ川柳トイレットペーパー (TOTO)

2005年より始まったTOTO主催「トイレ川柳」。トイレにまつわる悲喜交々を一般公募し、入賞句はトイレットペーパー型川柳集に掲載。つまりこちら使える川柳集です。350円。TOTOミュージアム ☎093-951-2534



ネオレスト型石けん (TOTO×シャボン玉石けん)

資源環境への配慮、機能、座り心地、デザイン。TOTOが誇る次世代トイレ「ネオレスト」が、北九州市で無添加石鹸を専門に作り続けて40年以上のシャボン玉石けんとコラボ。「人に環境にやさしい」324円。TOTOミュージアム



ネジチョコ (GRAN DA ZUR)

洋菓子店「グランジュール」のケーキは24号おやつ特集にも掲載。その名店が作るご当地チョコは、工業・製鉄の街にちなんでボルトとネジを象った一品。ココア・ビターの2種、各15個箱入り1,080円。☎093-475-7700



鐵平糖 (千草ホテル)

官営八幡製鐵所の関連施設が世界遺産に登録されたのを機に八幡東区にある老舗ホテルが、創業80年を数える入江製菓と開発した金平糖はなんと鉄の味! 血の味がするなんて言わないで。箱入り432円。☎093-671-1131



「雲のうえ」28号
題字 〓 牧野伊三夫
表紙モデル 〓 井村ら (第8代・北九州看板娘)
表紙写真 〓 篠田英美
アートディレクション 〓 有山達也
編集 〓 つるやももこ
校正 〓 斎藤晋
© 北九州市 2018
本誌記事・写真・イラストレーションの無断転載を禁じます。

29 お泊まりはこちらへ 北九州ホテル・旅館リスト

18 『10年目の北九州』
旅人、文(つるやももこ) 写真 〓 篠田英美

4 『万歩計と歩く旅』
旅人、文 〓 岡崎武志 絵 〓 牧野伊三夫 写真 〓 篠田英美
1日目「小倉着、いきなり夜の酒クルーザー」
2日目「門司港の『佐藤書店』で古本浴」
3日目「この天の虹を追いかけて」
4日目「木屋瀬へ行きましょう」娘さんララ♪

特集
目次
雲のうえ28号
『雲のうえ旅行社』

そうだ!! **BESS** 展示場へ 行こう!!

丸い家、四角い家、三角屋根の家、シブい家…個性たっぷりの木の家や楽しいインテリア、気持ちいいウッドデッキや庭。BESS展示場には、「こんな風に暮らしたら、楽しそう!」のヒントがいっぱい。今度のお休みは、BESS北九州展示場に出かけてみては?



普通の住宅展示場と全然雰囲気違うよね

え?好きなように見てまわりたいの?

お家にいろんな顔がある。おもしろ〜!

緑も多くて、公園みたい!

ようこそBESS北九州展示場へ!
オープンから21年間で、**46,000**組のお客様にご来場いただきました。

寛いで見学いただけるよう、スタッフの付き添いはありません。お気軽にご来場ください。

自宅として楽しむログハウス 個性あふれる木の家の内部に潜入!

ログハウス=山小屋の別荘と
思っている人も多いのでは?
実際は、9割の人が自宅として住んでいます。木のぬくもり
いっぱいの家、街の中に、
今と今と増えています。

どんな365日になるんだろう?



読書? BBQ? どう使う? どの家にもウッドデッキが!

すべての家にキッチンがあるように、
すべての家にウッドデッキが!
“大空の下のリビング”を、
暮らしに欠かせないアイテムと
考えている BESS。この空間、
どう使うかは住む人次第?

晴れた日を楽しめる空間!

◎あきつログハウスは、
ウッドデッキの代わりに、
庭の楽しみを提案しています。



理屈抜きに、五感で感じてみて! 吹き抜け・天窓のある空間

同じmでも、広く明るく感じるの
はなぜだろう? 心が
おだやかになるのは、
どうしてだろう? BESSの
キーアイテム・吹き抜けや
天窓の気持ちよさは
カラダで体感しな
いとわからない!



何だか気持ちいいなあ...

「カッコいいね」「なんだこれ?」 楽しい暮らしが想像できるインテリア!

そこに住んでいる人の顔が見えてくるような、
凝ったインテリアも面白い「家を見に来たつもりが、
小物や家具に見入ってしまいました」という人も
しばしば。



ひとつひとつにすごいこだわり!

映画の世界だけじゃなかった! やっぱり羨ましい「薪ストーブ」

ログハウスと言えばやっぱりこれです。
薪の炎を見つめていると人間の気持ちは
穏やかになるのだとか。BESSの住人の
半分以上の人が、薪ストーブを設置する
というデータが。

わが家にも絶対ほしい

◎ストーブ一台でハイブリッド車5台分!
?CO₂削減効果もあるエコな暖房として注目されています。



このまま住めるんだあ。標準プランで実際の暮らしを体験

豪華華やかなモデルハウスに憧れて家を
建て「展示場は良かったけれど……」
という気持ちになるのは何となくも……。
見学できる建物は、等身大の標準プラン
だから、実際に住んだときの感覚が
わかりやすい!



住み心地が実際にわかる!

BESS北九州展示場は、「暮らしを楽しむ家づくり」のお手伝いをしています。自宅向けログハウスをはじめ、個性的な木の家7棟をご見学頂けます。

BESS 北九州展示場
Phone:093-291-1700

http://kitakyushu.bess.jp/ BESS北九州 検索
只今、国道3号線改良工事の為、一方通行側道への進入規制があります。公式HP地図・アクセスの詳細ルートもご参照ください。



〒811-4331 福岡県遠賀郡遠賀町別府3713-3
●営業時間/AM10:00~PM6:00
●定休日/水曜・木曜(祝日は営業)
●交通/車:国道3号線遠賀バイパス側道沿い黒崎ICより約20分・古賀ICより約40分

株式会社BESS福岡



BESS 安心総合保証
BESSなら建てる前も建てた後も安心。
建て替え、住み替え、用地明け、住宅ローン等、お気軽にご相談ください。

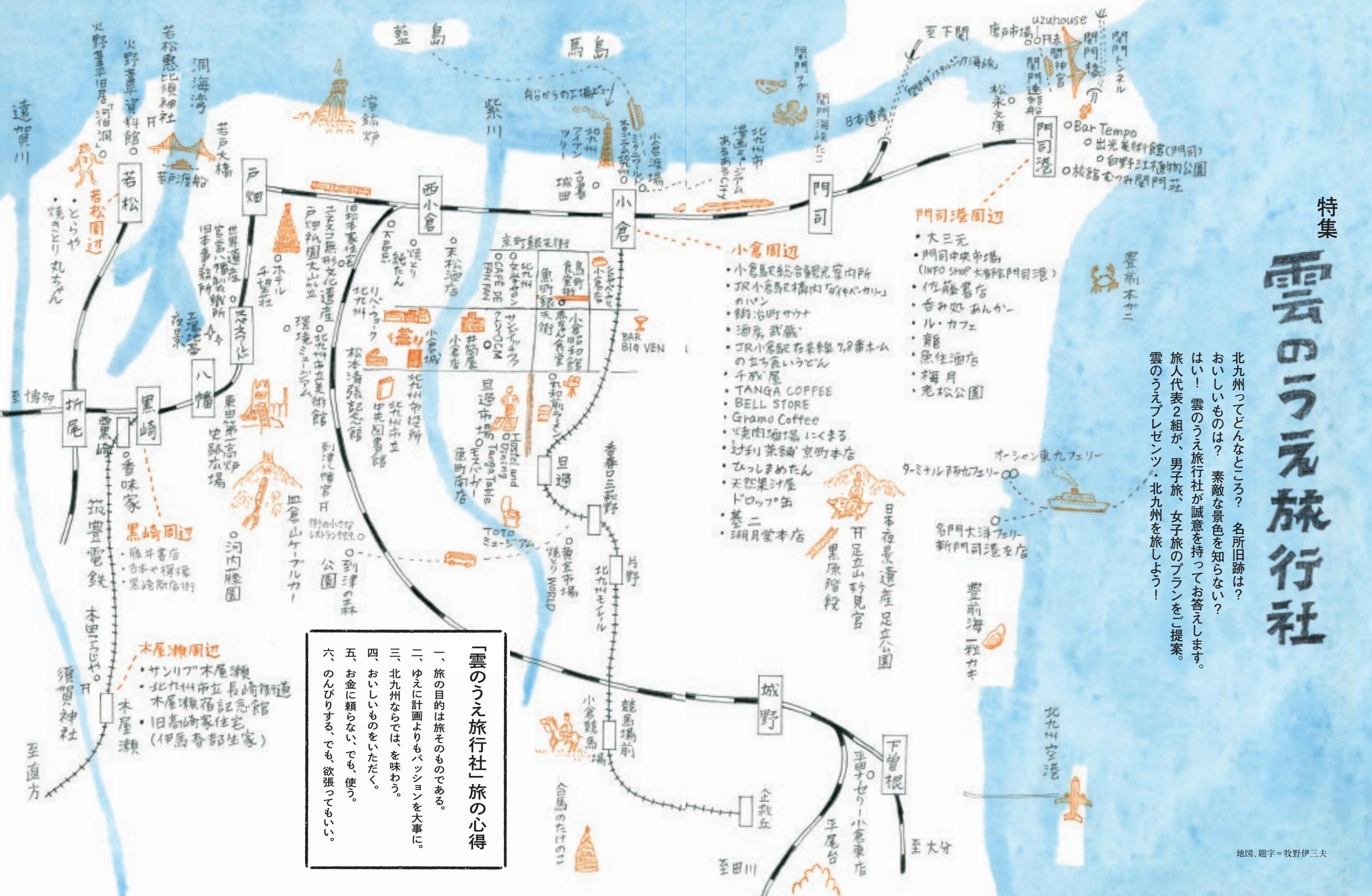
完成保証
エスエコー連動型
役務工事

50年保証
システム

メンテナンスサポート
長期50年まで、
定期的点検、24時間
緊急対応など種
々なサポートも
万全です。

雲のうえ旅行社

北九州ってどんなところ？ 名所旧跡は？
 おいしいものは？ 素敵な景色を知らない？
 はい！ 雲のうえ旅行社が誠意を持ってお答えします。
 旅人代表2組が、男子旅、女子旅のプランを提案。
 雲のうえプレゼンツ・北九州を旅しよう！



門司港周辺

- ・大三元
- ・門司中央市場 (INFO SHOP 大階段門司港)
- ・佐藤書店
- ・香み処 あんかー
- ・ル・カフェ
- ・龍
- ・魚住酒店
- ・梅月
- ・老松公園

小倉周辺

- ・小倉馬車総合観光案内所
- ・JR小倉駅構内「やんぱん」のパン
- ・餅治町サウナ
- ・酒屋 武蔵
- ・JR小倉駅在来線7,8番ホームの立ち食いうどん
- ・千成屋
- ・TANGA COFFEE
- ・BELL STORE
- ・Gramo Coffee
- ・焼肉海苔 にくまる
- ・お利茶舗 京町本店
- ・みっしめたん
- ・天然果汁屋
- ・ドロップ缶
- ・基二
- ・湖月堂本店

「雲のうえ旅行社」旅の心得

- 一、旅の目的は旅そのものである。
- 二、ゆえに計画よりもパッションを大事に。
- 三、北九州ならではの、を味わう。
- 四、おいしいものをいただく。
- 五、お金に頼らないでも、使う。
- 六、のんびりする、でも欲張ってもいい。

万歩計と歩く旅。

旅人・文 岡崎武志
絵 牧野伊三夫
写真 篠田英美

小説家松平清張が
指定した湖月堂の
栗まんじゅう



1日目 小倉着、いきなり夜の酒クルーズ5軒

11月14日羽田空港、東京は雨模様である。15時25分発、スターフライヤー機はぐんぐん高度を上げ、気がついたら真っ白な雲の上に出ていた。地上は雨だが、天上は快晴。『雲のうえ』取材にふさわしい旅立ちだ。暮れなずむ北九州空港へ降り、バスで一路小倉へ走る。小倉駅前で今回の3泊4日の旅の相棒、牧野伊三夫さんと合流。拙著『ここが私の東京』(扶桑社)で連載時からコンビを組み(牧野さんが装幀挿絵)、家が近所ということもあって、ここ数年、酒がらみのつき合いが続いているのだ。

2班に分かれた今回の取材で、おっさんチームが我々。旅程など、みな地元出身の牧野さんにおまかせ。よきにはからえと、さっそく小倉の夜をアルコール・

クルーズと洒落込む。小倉へはこれまで何度か来ている。一昨年6月にも、牧野さんの会で招待を受け、酔っ払っていた。

紫川右岸を下流へ向かって歩き出す。常盤橋を渡り、細い街道筋へ入る。橋は別世界への入り口である。「かつて小倉駅は今より西にあって、移転するまで、この道がメインストリートだった時代があるんです」と牧野さんがガイドする。解説を聞きながら静かな通りに往時を偲ぶのだ。「室町」交差点近くに『焼とり 純たん』がある。名前がいいねえ。純文学も純喫茶も衰退する中、「純」が守られている。黒ずんだカウンターに腰掛け、串を次々と注文、まずは牧野さんと旅の始まりを祝う。

街に腰掛けると長っ尻になる牧野さんのこと、次々と河岸を変えて行く。さきほどの街道筋に見つけた角打ち『末松酒店』で焼酎のお湯割り。人生の先輩2人がテレビで歌謡番組を見ながら、仁王立

ちで飲んでいる。惚れ惚れする男たちの背中だ。ここでも長居はしない。

魚町銀天街『ひっしまめたん』は、牧野さんの大きな壁画がある店。ここでも小倉の男たちが、ニコニコしながら杯を空けている。無邪気な顔は中学生に戻ったようだ。手を離せば、どこかへ飛んでいく凧のような男たちを、女主人がしっかり引き締め、優しく店を支配している。

新旦過飲食街『天然果汁屋ドロップ缶』は小さなバー。ここも女主人で、旧姓が私と同じ岡崎。名前に乾杯だ。ここは2階あり。「怪し気な運命論の行き止まり」(中島みゆき)であろうか。数杯のハイボールを流し込み、これで締めかと思ったり、なおも『丸和前ラーメン』に誘われる。振り切ってホテルへ戻ろうとしたら、今回の取材の別働隊つるや・篠田・有山チームと路上でばったり。あらあらと丸和前



二〇一七年十一月十五日
小倉小倉町 伊三夫

旅先で地元の喫茶店に入るのも旅の楽しみ。小倉京町にある『カフェ・ド・ファンファン』は、バリ気分の店構え。

◇ 1日目

- 夕刻、小倉着
- 焼とり 純たん
- 角打ち 末松酒店
- ひっしまめたん(立ち呑み)
- 天然果汁屋ドロップ缶(酒場)
- 丸和前 ラーメン
- ホテルクラウンパレス小倉



へ戻っていた。小倉の夜は深い。スマホ計測の本日の歩数は8705歩。

2日目 門司港の『佐藤書店』で古本浴

今回『雲のうえ旅行社』には、事前にいくつか希望を出しておいた。その一つが、地元の喫茶店でモーニングを食べること。少しでも小倉の街に素早くなじみたかった。京町銀天街『CAFÉ DE FAN FAN』は、茶色っぽい内装の落ちついた店で、トースト、卵、サラダ、コーヒートの正統派モーニングを味わう。本日はここからスタート。やがて牧野さんが店へ入って来た。

かう。銀天街の『辻利茶舗京町本店』は、奥に喫茶室をしつえらえた、なんともモダンなお茶屋さん。お土産にほうじ茶を買う。松本清張が愛した和菓子店『湖月堂本店』では、清張さんお気に入り栗饅頭を。駅は目の前なのに、なかなか前へ進めません。この日のスケジュールも過熱気味。駅構内の観光案内所で、各種観光パンフを仕入れ、小倉駅からモノレールで香春口三萩野駅下車。ここからはバス。地元の路線バスを使うのも旅の醍醐味で、様々な発見がある。この日はすんなりと黒原一丁目バス停へ。ここから歩いて、足立山中腹にある足立山妙見宮を詣でることに。

長い階段を上って、『足立の妙見さん』にたどりつく。北九州の街が一望できる。和気清麻呂が宝亀元(770)年に創建した神社で、ご祭神は星霊信仰の神様だ。という。土地の鎮守に手を合わせ、旅の平安の祈願をする。狛犬ならぬ狛猪、なると御利益のある献牛像ほか、同宮には動物の像がいっぱい。また、牧野さんが申年の絵を描いた絵馬もここに奉納され、社務所へ行くと皆さんの顔がほころぶ。宮司の母上から小さな御守りの鈴を

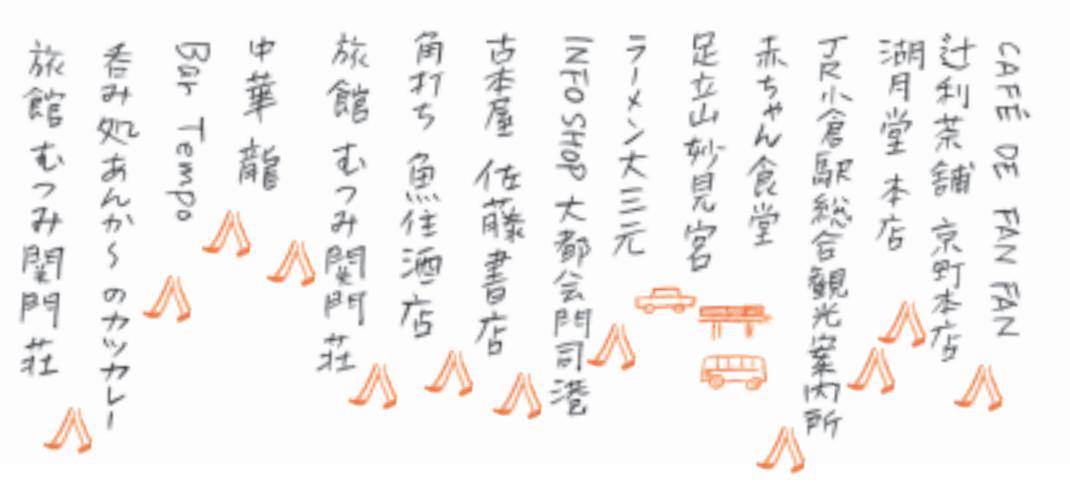
いただく。喜んでバッグに結びつけ、以後、2人が歩くたび、この鈴がリンリンと存在を主張することに。まるで巡礼者だ。

り。門司港は好きな街で、これまで取材を含め四五回は来ているか。門司港レトロ地区から少し離れた古びた街を歩くのが好きだ。昼飯がまだだったので、門司区老松町の『大三元』で豚骨ラーメン



岡崎武志
おかざき・たけし／1957年大阪府生まれ。書評家、フリーライター。著書に『女子の古本屋』(ちくま文庫)、『蔵書の苦しみ』(光文社知恵の森文庫)ほか多数。

◇2日目



を。一家で守る濃厚なスープの愚直な味がいい。

腹ごしらえをして老松町の門司中央市場へ。ここは観光ガイドにも載らない、昭和なアーケード商店街。シャッターを閉めた店も多いが、近年、古本屋、カフェなど新しい息吹きが芽生える。『シマネコブックストア』は、会社員が交替で週3日だけ運営している古本屋で、前回チェック済み。しかし、この日は休みだった。老松公園方面の出口に近い『IN FOSHOP 大都会門司港』という店を発見、ここでコーヒーを飲む。

日が落ちてきて、栄町商店街から少し脇道に入った古本屋『佐藤書店』へ。門司港まで来て、ここへ寄らずに帰る法はない。35坪の広い店内に、郷土史、美術、文学、歴史など良書が整然と並ぶ。名店中の名店であろう。店主の佐藤真さんに御挨拶。10年以上も前、雑誌連載でこの店を取り上げた時、佐藤さんが犬の頭をなでているだけで仕事をしないと書いたことを叱られるかと思ったら、覚えていらして「あの記事はコピーして方々へ配りました。今もあんまり仕事をしていません」と微笑まれたのでホッとする。店



門司港
むつみ関門荘にて
三十二年
伊三夫

旅先の旅館で浴衣に着替え、読書するのは格別の気分。これ以上くつろいだら眠ってしまうけど、まあいいか。

内に100円・300円均一の棚があるから、観光客の方でも、ぶらりと寄って、何か買えるのではないか。私もここから何冊か買った。旅先で買った本のことは、いつまでも忘れないものだ。事実、伊藤整著『海に見える町』を以前ここで買ったことを忘れていない。

長い一日が終わり、今夜の宿『旅館むつみ関門荘』へ投宿。坂の途中にある和風旅館で、かつて私もここへ泊まったことがある。目の前にある『魚住酒店』が、人生初の角打ち体験であった。いやいや懐かしい。荷を解いて、門司港の夜を牧野さんとクルーズ。今夜のゲストは牧野さんの友人Nさんとその同僚。Nさんは、道を歩けば知り合いに出会う門司の門番みたいな人。中華料理『龍』で、ずっと気になっていた日本映画、木下恵介監督『この天の虹』の話をしたら、ドンピシャ！「誰よりもこの映画に詳しい人に紹介してあげます」と言う。ああ、明日が待ち遠しい。

この日の歩数は9145歩。これだけ歩いても1万歩に届かないのか！思わず星降る夜空を仰いだ。



◎むつみ関門荘の素晴らしい朝食

◆一泊朝食付、5,400円也！

3日目 『この天の虹』を 追いかけて

あつというまにもう3日目か。むつみ関門荘の朝食は、全て手作りの心尽くしの品々。思わずご飯をおかわりし、全品を食べ尽くす。出立まで、畳の部屋に寝転んで、本を読む。松本清張『鴉外の婢』は、小倉を舞台にしたミステリ。北九州へ来ると、清張さんを読みたくなる。旅の思い出はこうして作られるのだ。

旅支度を終え宿を後にして、昨夜、門司の門番Nさんより紹介された映画・芸能資料館『松永文庫』を訪ねる。旧大連航路上屋内に設置された松永文庫は、門司生まれの松永武氏が独力で収集された映画・芸能関連資料を元に開設された。一般公開されている。かつて名画座で観た木下恵介監督『この天の虹』（1958年公開）は、八幡製鐵所の製鉄作業がリアルに描かれている。この映画の印象は強烈で、小倉でも移動する酒場ごとに、誰彼なしにこの映画の記憶を尋ねてみたが反応が悪く拗ねていた。

ところが、松永文庫には横長の公開ポ

『小倉昭和館』は1939年に開館。浮き沈みの波を乗り越え、現在も2館で営業。苦しい時代に、高倉健から励ましを受けたという。



健さん！ 心の中でも鈴がリンリンと鳴っている。

映画を観終わった後、館主の樋口智巳さんに挨拶、館内ロビーに招かれ、おいしいコーヒーをごちそうになる。聞くと、これは、世界一の焙煎士と謳われた後藤直紀氏が、小倉昭和館に合わせて配合したオリジナルブレンドだと言う。ほろ苦い中に甘味と酸味があり、これを飲むただけに、このドアを押す値打ちはある。そういうえば健さんは、大のコーヒー好きであった。身も心も温まるひと時だ。

映画館を出て、サウナへ行くという牧野さんとはここから別行動。小倉駅北にある『古書 城田』へ向う。オープン間なしに一度踏破済み。文芸、ミステリ、美術など万遍なく揃う店で文庫にも力を入れてる。しばらく店内を散策して、片野博著『北九州市の建築』（北九州市都市協会）を1000円で買う。明治から昭和初期の北九州のモダン建築をカラー写真で紹介した本。地元ならではの本が買えるとうれしい。

夜は京町の『北九州文学サロン』で、本誌『雲のうえ』のトークイベントが開かれた。牧野伊三夫・つるやもここ

有山達也の3氏が、そもそもの成り立ちから、編集の苦労話などを披瀝する。この日の歩数9886歩。ああ疲れた。

4日目 木屋瀬へ行きましょう♪ 娘さんラララ♪

いよいよ最終日。昨夜は、『雲のうえ』のトーク後、魚町の『酒房 武蔵』2階で打ち上げ。酒と人にまみれて泥のようになり、深夜、戸畑の高台にある『ホテル 千望荘』へ投宿。昨夜は気づかなかつたが、朝になれば、眼下に映画『この天の虹』の舞台となった製鉄所の煙吐く煙突が乱立する戸畑地区が一望できる。北九州ならではの豪気なロケーションだ。

牧野さんと食堂で落ち合い、朝食を摂る。遅い朝食を食べているのは、我々と隣の席の女性一人客だけ。ご飯に卵をかけていると、牧野さんが、その女性に声をかけた。清楚な印象の30代で、こぼれる笑顔がいい。実は彼女、千望荘の娘さんと同僚で、それで宿の女主人とはじつこの仲。聞くと、明日まで3連泊するという。今日一日は体が空いていると聞いた牧野さんは、『雲のうえ』取材の概

スターが展示されるとともに、室長の松永氏からは、世にふたつとない貴重な『この天の虹』の資料を見せていただいた。まさか、と思える一挙の僥倖に朝から興奮してしまった。なお、同文庫ではこの時期、『高倉健特集』の展示があり、映画ポスターやパンフレットを目にする事ができた。映画ファンなら、ぜひ訪れてほしい資料館である。

こうなると映画が観たくなって、急ぎよ『小倉昭和館』を目指す。急げば12時30分の中井貴一主演『グッドモーニング ショー』に間に合う。昼は小倉駅ホームの立ち食いうどんを流し込み、ゲホゲホとむせながら早足で昭和館へ。2人の鈴がリンリン鳴る。チケットを買ってドアを押すと、もう映画はすでに始まっていた。暗闇で空席を探す間も鈴は館内にリンリンと響くので冷や汗が出た。ようやくやく席を見つけ、スクリーンを観ると、あれえ高倉健だ。しかも、中井貴一も出演している。昭和館は1・2と部屋が分かれ、入った2は旧作上映で、高倉健特集であった。なんとという奇遇。もちろん、そのまま忠臣蔵外伝とも言うべき、市川崑監督『四十七人の刺客』を観る。ああ

◇ 三日目

松永文庫

ル・カレ

JR 門司港駅

JR 小倉駅

小倉昭和館

古書 城田

北九州文学サロン

酒房 武蔵

JR 小倉駅

JR 戸畑駅

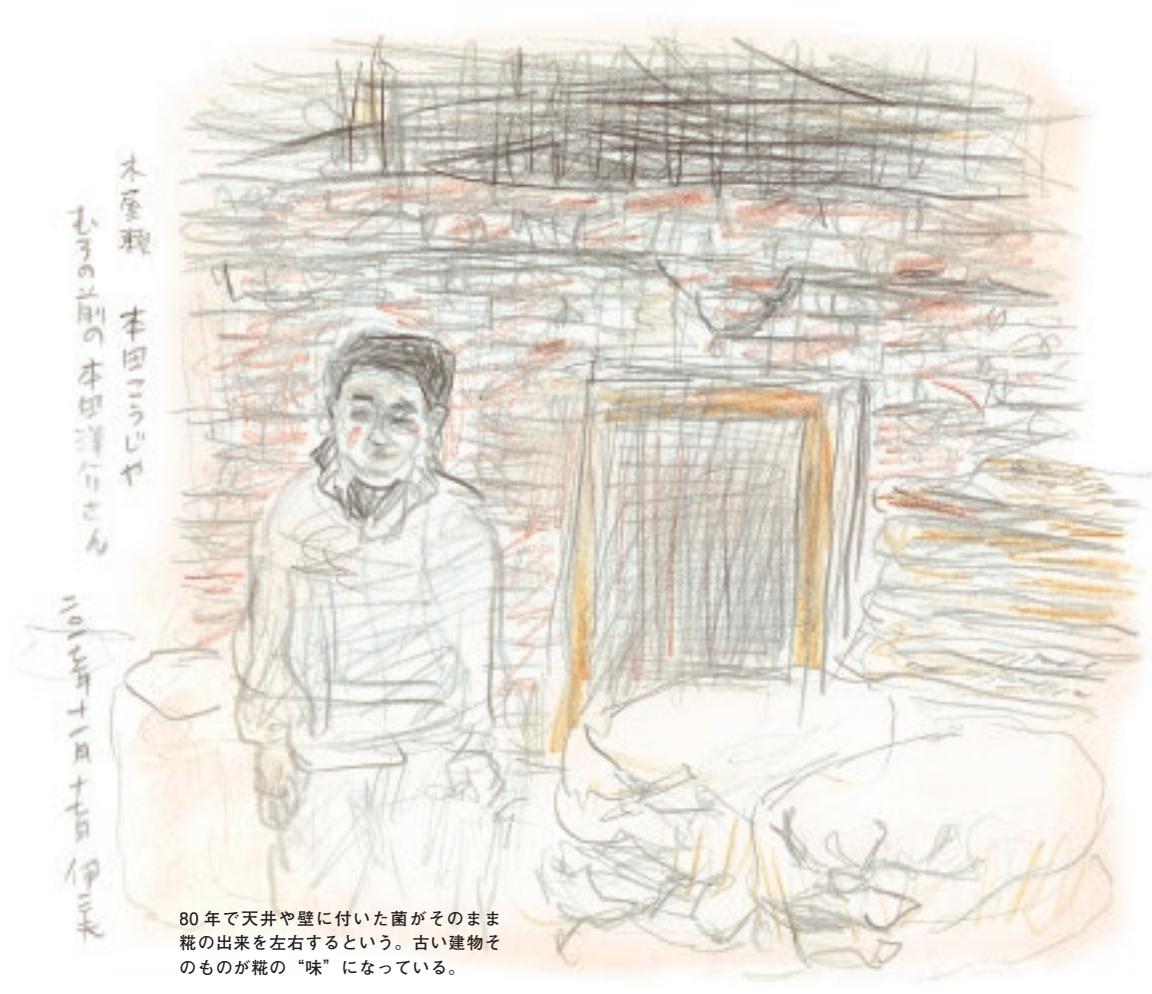
ホテル 千望荘



黒崎、古まが樟橋
2012年12月
伊三史

私が所持する20年前の旅行ガイドブックには、この木屋瀬が、長崎街道の宿場として江戸期に栄えた町だと、ちゃんと紹介されている。ケンペルや吉田松陰も訪れ、伊馬春部（1908〜84年）の生家もあるという。伊馬春部といつても、

近頃では知る人も少ないだろうが、昭和初年より放送作家、劇作家として活躍した人。太宰治とは親友で、その方面の著作もある。私は都市風俗を背景とする軽妙なユーモア小説を何冊か持っている。今回、その1冊を持参した。



木屋瀬 本田こうじや
むすの二前の 本田洋介さん

2012年12月17日 伊三史

80年で天井や壁に付いた菌がそのまま糶の出来を左右するという。古い建物そのものが糶の「味」になっている。

要を話し、よかつたら今日、我々と一緒に話ませんかと申し出た。

私は正直「いや、いきなりそれは、無理だろう」と思った。初対面だし、2人のおっさん相手だし。しかし、彼女は「私なんか、いいんですか」と、首をコクンとタテに振ったのだ。牧野さんの雑誌作りに賭ける情熱と、旅の演出力に、この時はただただ感心した。こうして、寺田美知子さんが、旅の仲間に加わることになった。いやあ、人生、何が起きるかわかりません。

昨夜は駅からタクシーだったが、せっかくだから高台の階段を、3人で語らいながら下りて行く。途中、牧野さんがスケッチブックを取り出し、千望荘を描くのを、美知子さんが珍しそうに、熱心に見ていた。「画家が絵を描いているところを見るのは初めて？」と声をかけると「はい、初めてです」と破顔する。私には当たり前になった光景を珍しがる人がいる。1人、新人が加わるだけで、旅の濃度が強まることがわかった。

JR戸畑駅前で、この日まで女子班にくっついていたデザイナーの有山達也さんが合流。今日の目的地は木屋瀬だ。

黒崎駅から筑豊電鉄「直方行き」に乗り換え、ガタゴトと車中の人となる。筑豊電鉄に乗るのも楽しみだった。木屋瀬までは約30分。目の前にスーパーがあるほか、飲食店もまばらな光景が木屋瀬駅前に広がっていた。牛井屋もコンビニもない。あれもある、これもある東京にいては、なかなか拝めない光景だ。

『雲のうえ旅行社』一行は、駅前の観光地図を頼りに、とりあえず昔の町並みを保存した旧長崎街道を目指して西へ歩き出す。駅から離れるとすぐ住宅街で、うち1軒、古い民家に『本田こうじや』と慎まし気に看板がかかっている。牧野さんはすぐ「！」と来たらしく、何だろうといういつつ、玄関を開けて、中へ声をかけていた。わかったことは、「こうじ」とは「糶」であった。本田こうじやは、創業80数年になる糶店で、ここで製造販売をしている。

「糶はデリケートな生き物で、細かい湿度や熱の管理が必要です。先代から伝わっていることをコテコテに、変わらずやっています」などと、主の本田洋介さんの話を聞いている間にも、次々と予約したお客さんが、糶を袋で買いに来る。



1936年刊。アトリエ社から出ていた「現代ユーモア小説全集」の一冊。本来は箱入り。装幀、表紙絵は、志村和夫。結構古書価は高い。

甘酒や味噌を、この糍を使って仕込むのだそう。米糍ブームの際は、予約が殺到し大変だったという。大きな看板を挙げなくても、派手な宣伝をしなくても、いいものを作ればものは売れるのだ。

その後、古い建物が残る旧長崎街道、『長崎街道木屋瀬宿記念館』、それに目当ての『旧高崎家住宅（伊馬春部生家）』もめぐったが、この本田こうじやに圧倒され、印象が薄まってしまった。思いがけないことであった。昼食は黒崎まで戻り、『雲のうえ旅行社』大絶讃の洋食店『香味家』で。私はお昼のランチをポークソテーで。ほか3人はカレー。お代わりできるパンが美味しい。ずっと言われるがまついて来た美知子さんも笑顔だ。有山・牧野が、皿に残ったカレーを、し

つこくパンで拭き取って口に運んでいたのが印象的だった。「なんだか、食べるのと、違うことをしているよ。うな気がしてきました（笑）」と有山さん。いいじゃないか、美味いんだから。

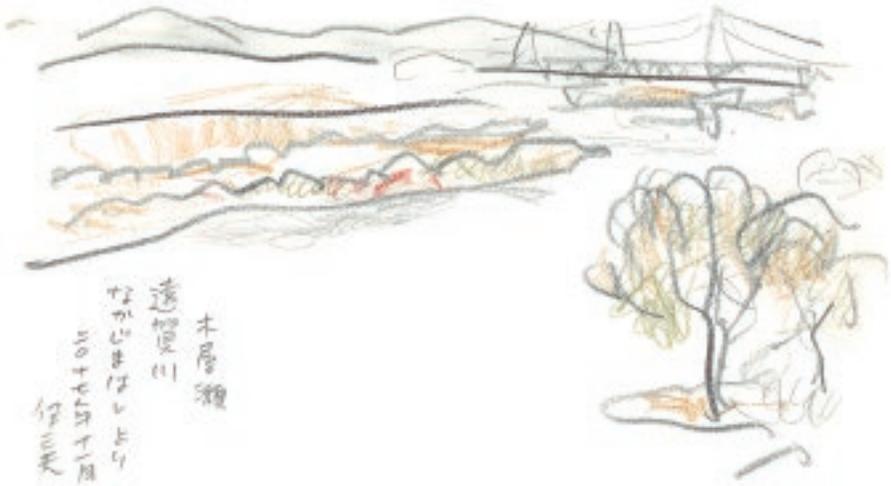
黒崎では『藤井書店』『古本や檸檬 depot』と古書店2軒を訪れた。藤井書店はかなり古く、黒崎では老舗だ。広い店内各所に平台を設け、硬軟とりまぜて客を待つ。柱のあちこちに、モノクロの生写真が貼られてある。ご店主に聞くと、約50年前の店周辺を撮影した写真が見つかったのだという。目の前の道路は拡張前、もっと広い未舗装の歩道で、子どもたちがゴムまりで遊んでいる。一部で野菜を植えていたという話にはびっくり。杉本健吉装幀の松本清張『無宿人別帳』を500円で買う。古本や檸檬 depotは、かつて駅前アーケード商店街内にあった『ブキヌリ檸檬』の娘夫婦が後を継ぎ、現在地に移転。若々しい店に甦った。私の本を棚で見つけて、これなら大丈夫と若い店主に挨拶。少しおしゃべりをする。「ここは人通りの少ない路地で客売りは難しいんですが、店

を開けていないと客からの買い取りがないので、営業しているんです」とのこと。小倉駅前の古本市を主催した時は、かつての客は懐かしがり、若い客は触ったことのない古本に歓喜し、本はよく動いたという。熱や活気は潜んでいて、思わぬかたちで噴出する。ラジオドラマをマンガ化した『ポッポの大冒険』は、学習雑誌『小学4年生』の付録で300円。レナルド・キオ著『私は魔術師』は珍しい新書で500円。いい買い物をした。

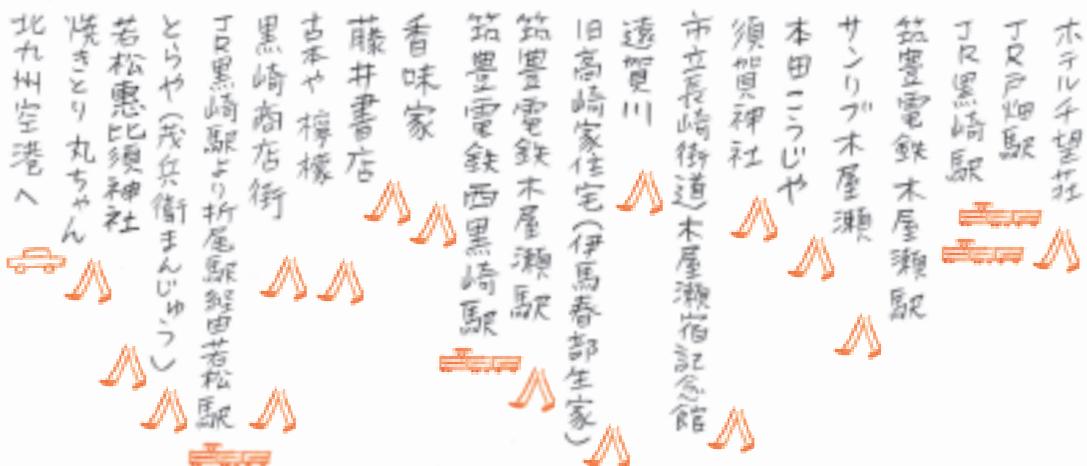
有山さんとは黒崎駅前で別れてJR筑豊本線で最後の移動をし、若松駅下車。ここは終着駅。今回の旅の終着点でもある。信心深い牧野さんのお尻にくっついて、若松恵比須神社へお参りだ。旅の無事を感じて、締めくくりにいい店はないか。「いい店」とはもちろん飲み屋だ。宵闇迫る若松の街を徘徊し、アーケード商店街近くの『焼きとり丸ちゃん』の赤提灯を見つけ、ここに飛び込んだ。結果、これが×じゃなく○（丸）だった。まだ空いたカウンターに陣取ると、女将がきびきびと厨房で働き、何も言われずとも体が動く従業員との連携が素晴らしい。開きではなく、丸ごと揚げ

た「アジフライ」がサクサクと歯に当たり、食通の牧野さんも「これは！」と絶讃する。

店の奥には座敷があり、地元の「顔」



◇四日目



たちが、続々と繰り込んで来る。知られざる「名店」という感じがした。熱燗の盃を空けながら、チーム牧野で語り合う。「思いがけない旅ができました」と美知子さんの感想が聞けてよかった。無理やり誘った甲斐があったのだ。ようやくくつろいで時間の中にほどこけていくようであった。なんだか『雲のうえ旅行社』のおっさん班は、とてもいいチームだった。

とっぷりと日は暮れて、若松の港から対岸の戸畑区の灯りがにじんで見える。ここで本当にみんなサヨウナラ。旅の道中をずっと陰でサポートしてくれた市役所のTさんと、北九州空港へ。道中、Tさんも私も、若くして父親を喪い、母親の手一つで苦労して育てられたことを知る。「だから、悪いことはできません」とTさんの言葉にホロリときた。ずっと天候に恵まれ続けたのに最後は雨か。北九州空港も雨に煙っている。今回の旅で印象に残ったのは観光地でもなく風景でもなく、人であった。街は人で作られる。そう思った旅だった。北九州のいい思い出をお土産にして、私は東京へ帰って行く。そうそう、万歩計は1万5202歩を指していた。

10年目の北九州。

旅人、文(つる)や(も)こ
写真：篠田英美

1日目 今昔

ミルフィーユ物語

初めて北九州市を訪れたのは、初夏だった。東西に半島のように細長く伸びた地形は、かつて5つあった市が合併したがゆえ。若松の石炭、八幡・戸畑の製鉄、そして貿易港として栄えた門司。小倉は



市民の台所で旬を確認。旅の最終日に
お土産を調達するのがおすすめ。

かつて軍都として陸軍の部隊が置かれていたこと。隣を歩く人に矢継ぎ早に教えられた記憶がある。工業都市として生きてきた街には優秀な技術者が育つ土壌があつて、「新日鐵住金」「安川電機」や「OTTO」をはじめ、全国に名の知れた企業が拠点を構える。でも自然も多いんです。そんな言葉に振り返れば、包み込まれそうな山並みが連なっていた。

来北、今年で10年目。あの時から街は変わったろうか。そう思いながら今日も赤と白のしましまの煙突を探している。白い煙を見つけて、風向きを知る。ああ、小倉に来たなあと思う。

且過市場は小倉の街の入り口のような場所だ。賑々しく仄暗いトンネルのような通りを、端から端まで歩くのもいつの間にか恒例となった。お土産を買うのは最終日だけれど、まずは旬のものを知るために歩くのだ。栗、出たての小さな合馬の箱、福岡産の天然きのこ、柑橘類

……。ピカピカのカマスを見つけて思わず立ち止まると、魚屋のおばちゃんから「下ごしらえしてあげるから、どお？」とお声がかかる。後ろ髪を引かれつつ、「旅人なんです」と行き過ぎる。思えば、いろんな市場で幾度も悔しい思いをしてきた。

市場を抜けたところに、以前から気になっていた小さな食堂があつて、暖簾が出ているのを初めて見て、「千成屋」という名前を知った。ショーケースに小皿のお惣菜が並んで、慣れた客は先に皿を選んでから席に着く。ご飯は大中小盛りあり、味噌汁、梅干し、納豆もある。しかしここはちゃんぽんを注文。隣では、

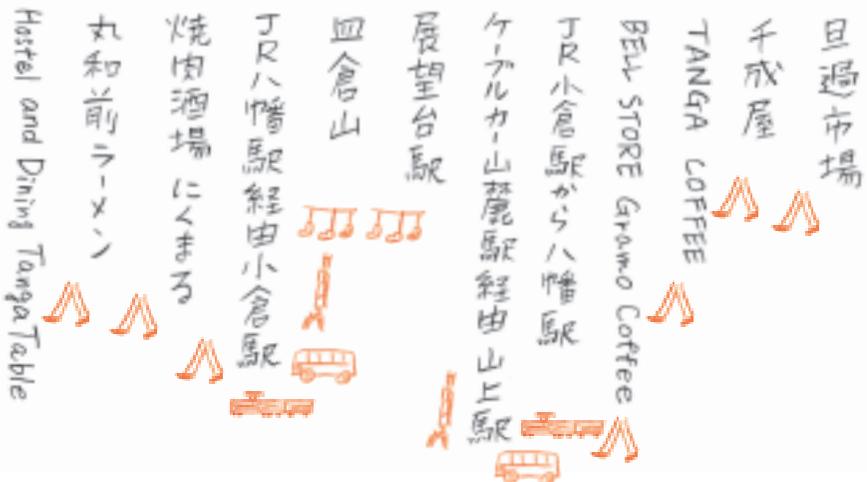


コーヒーを飲み、宝探し気分で、「BELL STORE」の店内をうろろう。



ポテトサラダに肉じゃが、アジフライなど、ガラスケースに並ぶお惣菜はどれもおいしそう。且過の「千成屋」にて。

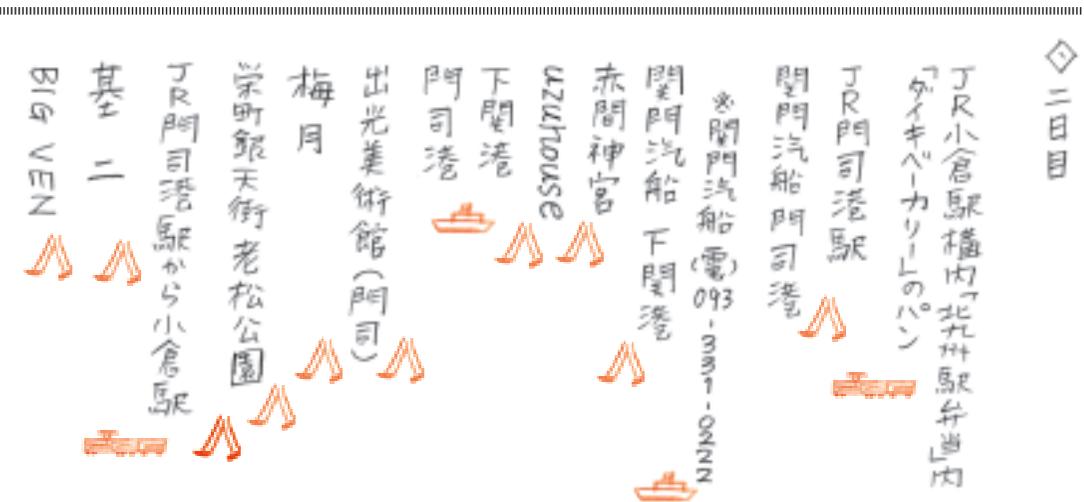
◇1日目





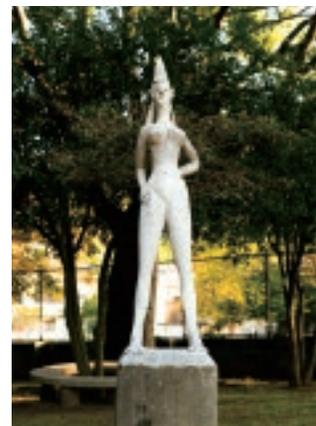
上・船に乗ると潮の流れの速さをよりリアルに実感できる。
下・出光美術館（門司）にて、仙厓愛用の湯呑みを鑑賞。

上・「梅月」のモダン焼きはボリュームたっぷり。
下・赤間神宮の水天門をフレームにして、海峡と門司港を覗く。



編集委員・有山さんが豪勢に小皿をあれこれ並べて食事中。ここ数年で朝食はご飯覚になったと聞いて、それもまた時の流れを感じるどころ？ そう、編集委員、スタッフみんな一緒に年を重ねている。且過市場の裏には紫川の支流が流れていて、その流れを挟んで建つビルに今夜の宿がある。『Hostel Land Dining Tanga Table』はドミトリタイプの宿だけれど個室もある。シャワーとトイレは共同だが女性専用があって安心。青森の友人が北九州へ来た際に泊まって、快適だったと教えてもらった。まだまだ知らないこと、場所があるものだなあ。いつも立ち寄るコンビニ近くに専用の入り口を確認して、馬借の方へぶらぶらと歩くことにした。

馬を借りると書いて「ばしゃく」。小倉には、紺屋町、鍛冶町など城下町らしい町名が残っている。馬借周辺（一部中島）は、ここ5、6年新しい店が増えてきた。以前通りかかった時に気になっていた古着屋へ入ってみる。小倉には街の規模にしては洋服屋が多い。ことに小さなセレクトショップが目につく。『BEST STORE』はカナダを中心に買



門司港の老松公園の不思議な女神像。関門トンネル開通記念に作られたそう。

いつけをしているユーズドの店で、『Gramo Coffee』と併設している。まずはコーヒーとオレンジケーキを注文して、腰を落ち着けた。

そうそう、紹介が遅れたが、今回の旅はカメラの篠田英美さんと一緒だ。私たちは「女子チーム」ということになっている（女子という年でもないが）。

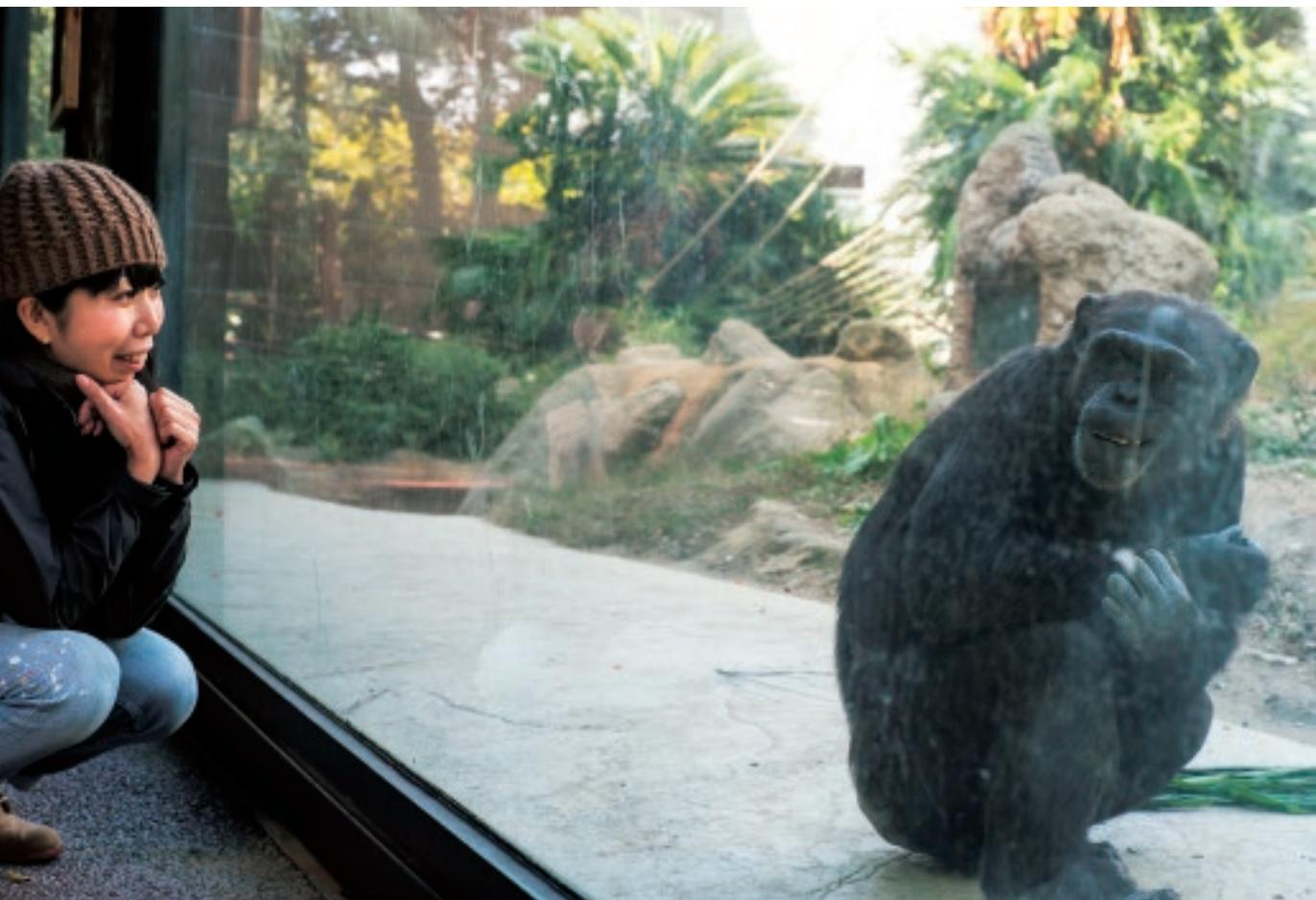
さて。私たちの隣の席ではボブの可愛い女の子がお茶をされていて、名前を梅田英子さんと言った。隣同士自然と会話が始まるのもこのお店では珍しくないみたい。英子さんは実家のある北九州に戻ってきたばかりで、パン作りや飲食の仕事をしてきたり、東京や神戸にもいたことがあると話してくれた。地元で少し羽を休めたら、あちこち旅したいと思っていて、食の仕事の柱に、国内外さまざまな土地

で働いてみたいんだって。気負いもなく執着もなくなんだか軽やか。私たちの旅のことを話すと、お気に入りの場所をいくつか教えてくれた。旅は人との出会いが一番楽しい。一期一会で旅のプランが作られていくってすごくワクワクする。

コーヒーを飲みながら、おしゃべりしながらお買い物もした。古着のワンピースとハワイの妖精「メネフネ」の置物。こちらも一期一会である。

2日目 レトロと 呼ばないで

昨夜遅くにTanga Tableに入り、部屋のカーテンを開いてみると、その前に寄った『丸和前ラーメン』の赤提灯が見えた。このとんこつラーメンを食べることは、小倉に来たら必須。とんこつの香りに包まれることを「洗礼」と言った人までいる。そんな話をされて久しいが、今回、初めてこの街を訪れた篠田さんに自分が同じことを話していることに気づき、ハツとした。それはそうと。夜ご飯の前に訪ねた皿倉山の夜景は工場群と民家の明かりが混在して、光の



あれ？ 気づけば同じポーズ。ガラスを隔てて、どちらが観察して、されているのか？ 『到津の森公園』にて。



お皿も盛り付けも楽しめる『基二』の料理。日本酒ですっかりボカボカ。

色層が多様で美しかった。あの営みの中の一点がこの赤提灯なんだなあとと思うと、歌ができそうな気がしてきて、パジャマ姿で鼻歌まじりにシャワールームに向かったのだった。

ベッドは大きく心地よく、おやすみ3秒で眠りに落ちた。

今朝、屋台は魔法のように消えていた。時計を見る。急がなきゃ、8時46分発の鹿児島本線に乗りたい。

小倉駅の改札を入ったところにある売店で『ダイキベーカー』のパンを買う。24号の取材記事をコピーして売り場に飾ってくれている。なんだかうれしくて思わず写真を撮る。こういうことが励みになる。小走りで門司港行きに間に合った。ところで、九州は個性的な電車がたくさん走っているが、鹿児島本線もそのひ

とつ。座席も床もヒョウ柄風で、車体は赤とメタル色。この賑やかな車両が、しつとりと情緒のある門司港駅のホームに滑り込む。気に入っている光景だ。

もうひとつ、門司港の景色のお勧めは、関門海峡の海上から見る門司港の街。下関までは、平家物語に描かれた戦いの舞台を横切って定期船で5分ほど。寒くても暑くてもデッキに出て海風に当たると、天気が良いと海にキラキラと光が降り注いで本当に美しい。大小の船が往来し、その向こうに、港町ならではの古めかしい建物と高層階のホテルが見える。背後には、ここでも街を守るように山並みが続いていた。

対岸に着き、平家の安徳天皇が祀られている赤間神宮の方へ歩く。朱色の華やかな水天門をくぐり、振り返ったら、角のない額縁の中に海峡があった。絵の中を、巨大なコンテナ船がゆっくりと通り過ぎて行つた。

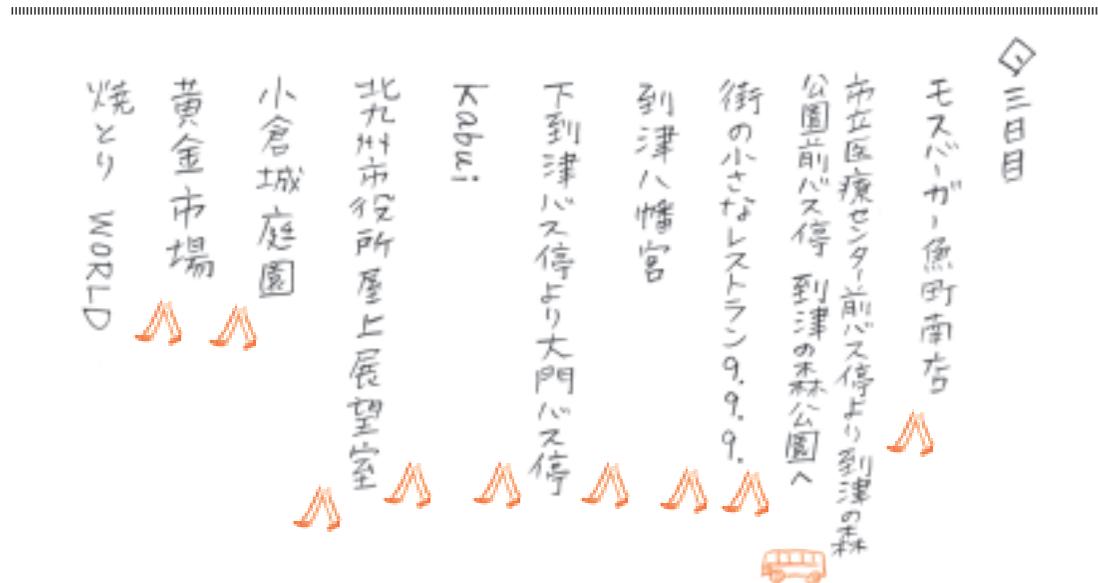
BELL STOREで会った英子さんから教えてもらった『uzuhouse』でコーヒを飲んで門司港へ戻ると、まだ昼前。港沿いを散歩がてら『出光美術館（門司）』へ行ってみることにする。



『BIG VEN』でウイスキーサワーを。ピンバッチがたくんついたベストと蝶ネクタイがマスターの制服。

門司は出光興産の創業者・出光佐三の起業の地だ。氏の門司での活躍は25号の編集の際に詳しく知った。この佐三の軌跡は美術館に併設する『出光創業史料室』で余すことなく観ることができる。今日は美術展示室が目当て。昨日小倉で「古唐津展」のポスターを見ていたからだ。

出光コレクションの中で最も有名なのは、おそらく江戸時代の僧侶で絵師の仙厓義梵の作品だ。とぼけたような画風、



でも力強い筆は迷いがなく、なんだか引き込まれてしまう。佐三はこの仙厓の画と唐津の器に共通項を感じていたそう。それは、粗野・素朴・野性味のある強さ。なるほど。その言葉をキーワードに鑑賞してみると、骨董の器の世界に明るくなくとも、形、筆使いに素直に興味がいってきた。出光美術館は、一人の実業家の生き方と目を通し、美術鑑賞ができる貴重な場なのだ。などと考えていると急にお腹が減ってきた。

モダン焼きを食べながら抹茶小倉ソフトクリームのことを考えている。ここ『梅月』は『雲のうえ』のホームタウンのような場所だ。取材の合間に梅月で甘いものにありつければラッキー。大黒様に似たご主人のことは、密かに福男と呼んでいた。今日はゆつく



迷って結局選ぶのはいつも、デミグラスソースたっぷりのハンバーグ。

り「甘辛」両方いただけるとなる夢のよう。抹茶ソフトクリームの抹茶は、一回一回、ご主人が立てたものを使う。夏場の抹茶かき氷も同じく。小倉ももちろん自家製だ。こんなにスペシャルなのに350円って……涙が出ます。

ホームタウンといえども1軒。本日も最後に立ち寄った小倉のバー『BIG VEN』は、女性が1人でも安心して飲めるオーセンティックバー。私的には、マスターに会いに行かなければ旅が始まらないし、終わらない。

私的エピソードをもうひとつ。社会人になって初めて大先輩に連れて行ってもらった銀座のバーで、私はウイスキーサーワーというカクテルを知った。この存在を知っていて、かつ上手に作れるバーテンドーはとても優秀だよ、と教えられたのだった。

そもそもカクテルの名前さえも知らなかった30代初めの世間知らず。BIG VENで初オーダーしたのがこの思い出の一杯だった。その時、マスターはちょっと驚いて（後から聞けば、結構強いお酒だからお嬢さんはあまりオーダーしないとのこと）、ベースにするウイスキーの

ことになんだかうれしくなった。当たり前場所で当たり前に手に入る地場ものを使い丁寧に料理する。それって実は難しいことだし、豊かなことだよなあ。

3日目 猫の昼寝

朝9時、小倉北区にある『到津の森公園』に開園とともに入園する。17号方言



ド派手な近代建築をバックに、書院造りのお屋敷と立派な日本庭園が。小倉庭園で抹茶と季節の菓子をいただいた。

特集の表紙で、びびんこ（肩車）しているカップルと象と一緒に撮影するために酷暑の中、数時間ひたすら象が近づいてくるのを待ったことがある。今日は、純粹に動物を見に来た。うれしい。

ここではたたくさんのボランテニアスタッフが働いている。開園すぐの時間帯はもっぱら朝食タイムだったが、それぞれの動物に合わせた食べ物を適切な大きさで切り分けて準備するのも、プロから



素材の新鮮さも焼き加減も絶妙。店員さんも気さくで会話も弾む。「焼とりWORD」は、並びのお肉屋さんが経営。

ことや、由来などを丁寧に教えてくれたのを覚えている。

マスター、あれから私、随分大人になりました。たいていの酒場に1人で入れるようになりました。でも小倉でマスターに会う時は、ちよつぱり緊張して扉を開けるんですよ。

そういえば、夕飯に行った季節の和食がいただける『基二』も、ご主人の人柄も素敵で、居心地のいい店だった。後日、食材が詰まった袋を両手に提げたご主人と且過市場ですれ違ったのだが、市場で買い物をしているんだ、と、当たり前前の

指導を受けた市民ボランテニアさんの仕事である。市民が支える市民の動物園は、全国でも珍しいのではないだろうか。動物紹介のパネルなど、手作りで温かみのある園内がそれを物語っている。ちなみに、かつて閉園の危機にあった動物園を市民の手で残すべく奮闘した記録は、「戦う動物園」というタイトルで書籍にもなっている。

レッサーパンダに癒やされて、しばらく進むとふわふわの尻尾が優美なワオキツネザルの檻の前で足が止まった。もちろんここも食事中。この光景がすごかった。ゴロンと大きく切ったニンジンやサツマイモを、小さな口の中にまんま詰め込んで上を向き、目をひんむいて顎をカクカクさせながら丸呑みしているではないか。しかも全員。普段の可愛らしい風貌から想像のつかないワイルドすぎる光景に、見ているこちらは動揺。食事中は動物たちも食べることだけに集中するのか、至近距離で人間が覗き込んでいてもあまり気にならないらしい。

その後に見ていたトラは、すっかりお腹が満たされた様子でぼんやり。こちらも警戒心ゼロで、隔てているガラスにべつ



丸くて白い入り口をくぐれば、トイレと水まわりの進化にまつわるめくるめく世界が待っている。『TOTO ミュージアム』。

たりくつついて、猫さながら満足そうに顔を洗っていた。

朝の動物園、オススメ。この時間帯、お客さんも少ないし、動物を一番間近で見られるかもしれない！

到津の森公園を出て、のどかな板櫃川いんびつのほとりにある『街の小さなレストラン 9・9・9』までは徒歩で10分ほどだった。10号で取材したのはもう9年も前になる。家族経営の街の人気店。扉を開けると昼には少し早いけどいつもの活気にあふれている。今日もハンバーグ定食のおいしさに満足。店の目の前に鳥居を見つけて、てくてく。到津八幡宮の石段を腹ごなしに上り下り。小倉の中心部へ戻る途中ふらりと寄った『k a b u i』は、洋服も雑貨も置いていて、ドリツプでコーヒーも淹れてくれる。温まって店を出た。

市役所の最上階に展望室があると聞き、上ってみることに。予想以上の景色に思わず声上がる。眼下に小倉城。街の中心を流れる紫川に架かる太陽の橋は、細かなタイル細工が施してあるのだが、鮮やかなひまわりが美しかった。こんな特等席があるならもっと早く知りたかつ



Tanga Table のモーニングは 8:00 ~。旦過市場で仕入れた食材を使う。

た！篠田さんは、夢中で写真を撮っている。満喫して地上に下り、小倉城の脇にひっそりとある小倉家庭園の中へ。こは茶室を設えた立派な武家書院があり、縁側で日向ぼっこをした。

「猫の昼寝」

旅の連れ合いがぼそっとつぶやく。え、極上の幸せじゃないですか。

4日目 青いお空が ほしいのね

昨夜の焼き鳥、おいしかったなあ。黄

で、製鉄を含めた北九州市の産業技術の保存や継承を目的にした『北九州イノベーションギャラリー』や、自然史・歴史を展示する『北九州市立いのちのたび博物館』などの施設が隣接して建っている。

前々から訪ねたかった『北九州市環境ミュージアム』を、小学生の団体と見て回る。工業地帯に暮らしそれを生業に生きる市民が、高度成長期に表面化した公害問題に対して、どう向き合おう克服したか。公害という負の遺産を、あえてミュージアムとして公開し、当時の資料をきちんと保存しているところがすごい。

「青いお空がほしいのね」と関東でも流れるCMソングは、市の企業「シャボン玉石けん」が作った歌だが、そこに、公害克服の物語が込められていたことを、そういえばこの街に来てから知ったのだった。今、環境問題を学びに北九州市に来る留学生が多いことを、21号で市に住む外国人の方にインタビューした時に知ったが、市が世界の環境首都を目指すのは、そんな過去の歴史があったからこそ、なのである。

小倉北区に戻り、10号の銘店取材以来通い詰めている『サンドイッチファクト

が金市場は、小倉の中心部からは歩いて20分強かかるが、散歩がてらにふらりと覗くにはいい、旦過とはまた違った雰囲気。地元密着型の市場だ。種類豊富な惣菜が並んでいるのは見ているだけでワクワクする。その一角にあるのが『焼とり WORLD』で、並びのお肉屋さん経営している。つまり素材が確かで新鮮ということ。焼き鳥は申し分なく、締めにいただいたとろとろの親子丼も絶品で、太陽卵というこだわり卵を使っているそう。同じ卵を使ったデザート、クリームブリュレは、自家製で300円という安さ。きつと近くに住んだら通ってしまう。そんな話をしていくうちに、本日の目的地に到着。少し足を伸ばしJRスーパースワールド駅に降りる。駅のある八幡東区から戸畑区にかけては、明治時代に官営製鐵所としてスタートした、製鉄産業の本拠地だ。現在の新日鐵住金の工場設備は、戸畑区の湾岸地域に集中してあるが、以前は洞海湾どうかいに沿った八幡東田地区に、広大な敷地を占めていた。その規模を試しにスマホの地図アプリで確認し、ただただ、驚く。

現在はかつての敷地を有効利用する形

◇4日目

Hostel and Dining Tanga Table

JR小倉駅よりスペースワールド駅

東田第一高炉史跡広場
北九州市環境ミュージアム

JRスペースワールド駅より小倉駅

シンロヤベーカリー小倉店

サンドイッチファクトリー OCM

TOTOミュージアム

平田ナーセリー小倉東店

お泊まりはこちらへ

北九州ホテル・旅館リスト



プレミアムホテル門司港
門司区港町9-11 ☎093-321-1111
JR門司港駅より徒歩2分
ダイナミックな関門の景観と個性的なお部屋で非日常を体験出来る。



ホテルクラウンパレス小倉
小倉北区馬借1-2-1 ☎093-511-4111
JR小倉駅(小倉城口)より徒歩11分
「小倉城」や「松本清張記念館」、「旦過市場」に繁華街も近く好立地



ステーションホテル小倉
小倉北区浅野1-1 ☎093-541-7111
JR小倉駅に直結、徒歩1分で交通至便。ビジネスはもちろん旅行にも最適。



リーガロイヤルホテル小倉
小倉北区浅野2-14-2 ☎093-531-1121
JR小倉駅(新幹線口)より徒歩約3分
全室14階以上、高層階ならではの景色を楽しめる。



千草ホテル
八幡東区西本町1-1-1 ☎093-671-1131
JR八幡駅より徒歩10分
1914年に八幡の地で創業「料亭千草」の伝統を受け継ぐ。



北九州八幡ロイヤルホテル
八幡東区枝光1-1-1 ☎093-662-1020
JR枝光駅より徒歩8分
ゆったりとしたお部屋と温泉大浴場と季節のおもてなし料理。



ホテルクラウンパレス北九州
八幡西区東曲里町3-1 ☎093-631-1111
JR黒崎駅より車で5分
旧長崎街道「曲里の松並木」からほど近い緑あふれる閑静な場所に行む。

旅館 むつみ関門荘

門司区清滝4-1-13 ☎093-321-1496

ホテル 千望荘

戸畑区牧山2-5-9 ☎093-871-6991

Hostel and Dining Tanga Table

小倉北区馬借1-5-25 ☎093-967-6284



●その他の宿泊施設に関しては、
北九州市観光サイト「ぐるリッチ! 北Q州」で検索ください。
<http://www.gururich-kitaq.com/search/category/?cat=staying>

*情報は2018年2月現在のものです。
*営業時間・休日等は直接店舗へお問い合わせください。
*宿泊料金については各ホテルへお問い合わせください。

掲載店問い合わせ(*登場順)

P4~17

[食事・土産]

●焼とり 純たん

小倉北区室町2-6-14 ☎093-571-4564

●末松酒店

小倉北区室町2-4-6 ☎093-582-0001

●ひっしまめたん

小倉北区魚町3-3-3 ☎093-521-3456

●天然果汁屋ドロップ缶

小倉北区魚町4-2-2 ☎093-511-8139

●丸和前ラーメン

小倉北区魚町4-2-24

●CAFÉ DE FAN FAN

小倉北区京町1-2-8 ☎093-551-4817

●辻利茶舗 京町本店

小倉北区魚町1-2-11 ☎093-521-1215

●湖月堂 本店

小倉北区魚町1-3-11 ☎093-521-0753

●赤ちゃん食堂

小倉北区魚町1-4-5 ☎093-521-3148

●大三元

門司区老松町2-6 ☎093-321-7015

●魚住酒店

門司区清滝4-2-35 ☎093-332-1122

●(中華) 龍

門司区本町4-7 ☎093-321-2028

●Bar Tempo

門司区港町9-11 (プレミアムホテル門司港9F) ☎093-321-1111

●呑み処あんか〜

門司区栄町9-25 ☎093-321-6228

●ル・カフェ

門司区西海岸1-4-3 ☎093-331-8161

●酒房 武蔵

小倉北区魚町1-2-20 ☎093-531-0634

●本田こうじや

八幡西区木屋瀬3-12-19

●香味家

八幡西区筒井町1-10 ☎093-621-4911

●とらや

若松区本町3-8-18 ☎093-771-9990

●焼きとり丸ちゃん

若松区本町2-4-5 ☎093-771-2447

[その他店舗]

●INFO SHOP 大都会門司港

門司区老松町2-11 ☎080-5646-7650

●佐藤書店

門司区栄町6-27 ☎093-321-0471

●小倉昭和館

小倉北区魚町4-2-9 ☎093-551-4938

●古書 城田

小倉北区浅野2-12-30 ☎093-551-3009

●藤井書店

八幡西区藤田2-5-19 ☎093-621-3200

●古本や 檸檬 dépôt

八幡西区藤田2-4-5 ☎093-631-1124

[施設・資料館等]

●JR小倉駅総合観光案内所

小倉北区浅野1-1-1 (小倉駅小倉城口3F)

●松永文庫

門司区西海岸1-3-5 旧大連航路上屋内 ☎093-331-8013

●北九州文学サロン

小倉北区京町1-5-9 ☎093-383-8610

●北九州市立長崎街道木屋瀬記念館

八幡西区木屋瀬3-16-26 ☎093-619-1149

●旧高崎家住宅 (伊馬春部生家)

八幡西区木屋瀬4-12-5 ☎093-618-2132

P18~28

[食事・土産]

●千成屋

小倉北区馬借1-5-8 ☎093-521-4477

●TANGA COFFEE

小倉北区魚町4-2-17 ☎090-8220-9012

●Gramo Coffee

小倉北区馬借2-1-20 ☎093-287-8078

●焼肉酒場にくまる

小倉北区馬借2-2-3 ☎093-541-7729

●ダイキペーカリー

JR小倉駅構内「北九州駅弁当」内 ☎093-341-0127

●梅月

門司区栄町1-10 ☎093-321-1344

●基二

小倉北区馬借2-2-3 ☎093-521-1268

●BIG VEN

小倉北区鍛冶町1-2-2 ☎093-531-7171

●街の小さなレストラン9.9.9.

小倉北区下到達4-11-28 ☎093-571-4241

●kabui

小倉北区大門2-1-9 ☎093-967-6858

●焼とり WORLD

小倉北区黄金1-1-23 ☎093-921-8108

●Tanga Table (Dining)

小倉北区馬借1-5-25

●シロヤペーカリー小倉店

小倉北区京町2-6-14 ☎093-521-4688

●サンドイッチファクトリー OCM

小倉北区船場町3-6 ☎093-522-5973

[その他店舗]

●旦過市場 小倉北区魚町4

●BELL STORE

小倉北区馬借2-1-20 ☎093-287-8078

●uzuhouse

下関市阿弥陀寺町7-8 ☎083-250-9787

●黄金市場

小倉北区黄金1

●平田ナーセリー 小倉東店

小倉南区田原3-586 ☎093-475-5800

[施設・資料館等]

●出光美術館(門司)

門司区東港町2-3 ☎093-332-0251

●到津の森公園

小倉北区上到達4-1-8 ☎093-651-1895

●北九州市役所屋上展望室

小倉北区城内1-1 開放時間 8:30~17:00

●小倉城庭園

小倉北区城内1-2 ☎093-582-2747

●東田第一高炉史跡広場

八幡東区東田2-3-12

●北九州市環境ミュージアム

八幡東区東田2-2-6 ☎093-663-6751

●TOTOミュージアム

小倉北区中島2-1-1 ☎093-951-2534

●皿倉登山鉄道

☎093-671-4761 季節により運行状況が異なります。

余すことなく見ることが出来る場所。お

現在の進化の軌跡や、東洋陶器として食器類を製造していた頃の製品なども

こはまさに、衛生陶器研究のきっかけからその歩み、ウォッシュレット開発を経て

過程を取材した編集委員が、便器は陶器だった、とつぶやくだりがあるが、こ

イン『TOTOMミュージアム』へ。

3号の工場見学で便器が作られていく

尻を拭く時代から洗う時代へ。実はそれですんごい発明である。興味津々で2階へ。機能もビジュアルも車並みに進化を遂げていく華麗なる歴史を目の当たりにして、想像以上の感動を得る。気づけば1時間半はゆうに超えて滞在していた。帰りにトイレ川柳集と、最新型ウォッシュレット一体型便器「ネオレスト」を象つた石鹸も買い、満足して白い館を出た。

冬の日暮れは早いもの。そろそろ帰り

11年目も楽しみみである。

あつという間。

この街は変わったろうか。もちろん、時代と共に変わった。でも、変わらないものは変わらない。両方あるからこそこの街。いつ何時旅しても、新しい発見はあるものだ。きつと飽きることはない。

ねえ、10年ですごいよね。笑いながら指折り数えてみたら、あれ？ 意外と



店全体がガラスハウスのような造りになっている「平田ナーセリー 小倉東店」は、植物園さながらにあらゆる花木が並ぶ。

の時間も近づいて、タクシーで最後の目的地へ会いに行く。

「会いに」と書くには理由があつて、この地に通いだしてすぐに知り合い、15号でインタビュールした友人が、久留米に本店を構える園芸店『平田ナーセリー 小倉東店』で待っているからだ。

ここ、普通の園芸店と侮るなかれ。エアプランツや多肉植物、ランやシダ類など、珍しい植物を意欲的に並べている。マニアックな植物愛好家に密かに頼りにされている存在は、北九州の穴場なのだ。さて、久しぶりに再会した友人は、アパレル系からガーデナーにすっかり転身。園芸店で日々に親しんでいる手はごつごつと立派で、すっかり日に焼けて、いい感じのおじさんに(笑)。

空の旅は、北九州空港から!!

東京(羽田)線 航空会社 日本航空 運航状況 毎日5往復 航空会社 スターフライヤー 運航状況 毎日11往復	名古屋(小牧)線 航空会社 フジドリームエアラインズ 運航状況 毎日1往復	沖縄(那覇)線 航空会社 スターフライヤー 運航状況 毎日1往復 ※平成30年2月8日～5月7日 毎日2往復 ※平成30年7月13日～10月27日
中国 大連線 航空会社 天津航空 運航状況 週2往復	韓国 ソウル(仁川)線 航空会社 ジンエアー 運航状況 毎日1往復 毎日2往復(平成30年3月25日～)	韓国 釜山線 航空会社 ジンエアー 運航状況 毎日1往復

※運航状況は平成30年2月現在であり、変更になる場合があります。



北九州空港のオススメポイント

- ✓ 小倉・空港間がバスで約30分!!
- ✓ バス停も駐車場(24時間520円)も空港の目の前!!
- ✓ 搭乗手続きがスムーズ
- ✓ 東九州道 苅田・北九州空港I.C. から約10分!!

北九州空港アクセス情報		北九州空港エアポートバス (2月1日現在)	
● 駐車場料金 普通車 2時間を超えて24時間まで / 520円	● 小倉駅バスセンター ノンストップ便 37分 / 700円	● 西鉄黒崎バスセンター 49分 / 800円	北九州空港
	● 朽網駅 16分 / 410円		

お得なキャンペーン情報

- 韓国 ソウル(仁川)線・釜山線
 「空港駐車場無料券2日分 プレゼント」
 ⇒ソウル・釜山へご出発の方で空港駐車場をご利用の方に、**駐車場無料券2日分**をプレゼントします。
- 名古屋(小牧)線
 「どちらか選べるキャンペーン」
 ⇒名古屋小牧空港へご出発の方に、**空港ナオ券1,000円分** or **空港駐車場無料券2日分**をプレゼントします。
 「北九州空港FDA企業サポーターズクラブ」
 ⇒入会(無料)した企業・団体の職員の方が、出張などで、年度内に片道10回(往復5回)ご利用いただくと、その企業に**1.5万円**を還元します。

国際貨物定期便 新規就航!

～中国・アジア主要6都市へ翌朝到着～

運航会社: ANA Cargo
 運航ルート: 関西(22:00発) → 北九州(23:10着 / 0:40発)
 → 那覇(2:30着) → ソウル・上海・台北・香港・バンコク・シンガポール

ANA Cargo 提供
 B767-300F (貨物専用機・約50トン積)

北九州市は、多くの魅力にあふれています。この場所に会いに、出かけませんか?

あ 小倉城 優雅な姿	あ 青空に 小倉城	い 異国への 夢も運んだ 長崎街道	う 絵札制作中	う うわーすこい でっかい恐竜 あえるまち	え 江戸めさし 白象が行く 常盤橋	お 蘭外の 往時を語る 小倉の日記
か 平尾台	か カルストの 羊群れなす	き 九州と 本州をつなぐ 夢の橋	く 雲の峰 シゲアロードの 松並木	け 健次郎への 金吾のオマージュ 松本邸	こ 小文字の 迎え火ゆれて 盆の入り	こ 曾根干潟 生きている化石 カブトガニ
さ 夜景あり	さ 皿倉山に 百億ドルの 夜景あり	し じんだ煮は ふるさと自慢の 祖母の味	す ステーキ すき焼き 小倉牛	せ 清張の 足跡残す 小倉まち	そ 銀舎屋で ちよっといっぶく	そ 農民の 命をつないだ 猿轎新田
た 五平太ばやし	た 樽太鼓 叩けや唄え	ち 提灯で 五色に焦がす 戸畑の夜	つ 梅雨の雨 紫陽花濡らす 高塔山	て 鉄の街 日本を支えた 溶鉱炉	と 僕たちの 元気を集め 向日葵咲く	と 日向葵咲く
な 青い色	な 七色の 煙染り替え	に 人情が 日過市場の かくし味	ぬ ぬくもりを そっと解いて かしわめし	ね ねりあげる 最高潮の 黒崎祇園	は 春の味 合馬のたけのこ 日本一	は 江戸の 夏祭り
ひ 夏祭り	ひ 江戸の 夏祭り	ふ 古き住き 時代とどめて 門司港駅	へ 部崎から 船人見守る 清慮さま	ほ 僕たちの 元気を集め 向日葵咲く		

● 遊びながら、楽しみながら北九州市の魅力や歴史・文化を「学び」「知る」ことができる「北九州市ふるさとかるた」
 「ま～を」の札は、<http://karuta.lets-city.jp/> をご覧ください。

北九州市情報誌 『雲のうえ』への広告主募集!

掲載位置、料金、広告サイズなど詳細は下記までお問い合わせください。

- 発行月 年2回(11月、2月)
- 発行部数 32,000部
- 配布エリア
 - スターフライヤー(北九州～羽田)機内、北九州空港、北九州市東京事務所、フェリー発着場等
 - 東京・福岡・北九州

東 京 / 青山ブックセンター本店・六本木店、ジュンク堂池袋本店、三省堂神保町本店、ヴィレッジヴァンガードお茶の水店
 福 岡 / 丸善博多店、リプロ福岡天神店、アクロス福岡、ジュンク堂書店福岡店、福岡県立図書館
 北九州 / ブックセンタークエスト(北九州市内各店舗)、各区役所総務企画課、市内各ホテル、各観光案内所、小倉昭和館
 随時、設置場所を拡大中!

詳しくは、北九州市にぎわいづくり懇話会HP「http://www.lets-city.jp/03_kumonoue-about.php」の「配布ご協力店舗一覧」をご参照ください。



2018 北九州市下水道100周年

つなげよう 次の100年へ ～下水道がつくる豊かな水・まち・暮らし～

北九州市の下水道事業は、1918年(大正7年)7月に、旧若松市で第1期の事業認可(77.7ha)を受けスタートしました。全国的にも早期に開始し、2018年(平成30年)は、下水道事業に着手して100年になります。



北九州市下水道100周年記念事業

I. 下水道の歴史を振り返り、市民とともに祝う

- ・北九州市下水道100周年記念式典(H30.7.23)
- ・記念デザインマンホールの設置(H29～30)
- ・下水道パネル展(H29～30)

II. 下水道の役割を伝える

- ・下水道施設見学会(H29～30)
- ・マンホールスタンプラリー、マンホール広場(H30)
- ・マンホールサミット(H30誘致予定)

III. 未来につなげる

- ・「下水道展'18北九州」の開催(H30.7.24～27)
- ・国際会議の開催(H30.7.25)
- ・記念講演会の開催(H30.7.23)

「下水道展'18北九州」開催

- ◆期間:2018年7月24日(火)～27日(金)の4日間
- ◆場所:西日本総合展示場

下水道展 検索



北九州市
上下水道局
 Mascotキャラクター
 スイッピー

下水道100周年 検索



北九州市上下水道局

*アンケート

『雲のうえ』28号をお読みいただきありがとうございます。ご感想、今後取り上げてほしいテーマなどのご要望を、綴じ込みはがきでお寄せください。抽選で17名の方に以下のプレゼントをお贈りいたします。2018年8月15日消印有効。当選の発表は発送をもって代えさせていただきます。*応募はおひとりさま1号につき1通に限らせていただきます。複数応募は無効となりますのでご注意ください。

- A: 北九州—東京羽田間往復航空券目録(株式会社スターフライヤー) ⇒1名様
- B: ホテルペア宿泊券(北九州八幡ロイヤルホテル・ステーションホテル小倉・千草ホテル・ホテルクラウンパレス北九州・ホテルクラウンパレス小倉・プレミアホテル門司港・リーガロイヤルホテル小倉) ⇒各1名様
*ご希望のホテル名をお書きください。
- C: 北九州市ふるさとかるた(北九州市にぎわいづくり懇話会) ⇒5名様
- D: 「北九州のコレいい!」4点セット(『雲のうえ』編集委員) ⇒3名様
- E: 小倉織カード名刺入れ(『雲のうえ』編集委員) ⇒1名様



小倉 綿織



小倉 綿織

青雲/白雲
*特集「幸福の黄色いカレー」は、魅力的な写真が多く、また働く方の生き様が伝わった。また定期的な娘に会いに北九州へ来ています。来る度にこの冊子を取り取るのが一つの楽しみになりました。今後とも魅力的な冊子作りを応援しています。
(福岡県大牟田市・65歳女性)
*若でカレーを集める本はたくさんありますが、「このカレーが食べた」ではなく、「この人が作ったカレーが食べたみたい」と思わせるところがさすが『雲のうえ』のパワー。必ず掲載の店をコンプリートしに食べに行きます。

(福岡県博多区・48歳女性)
*とてもクオリティの高い冊子だと思います。私どもの「にぎわいづくり」の参考にしたいです。(福岡県・大野城市にぎわいづくり協議会)
*毎月吉祥寺の「百年」さんから取り寄せて楽しく読んでいます。今後取り上げていただきたいのは、パン屋さん、近代建築、リノベーション、商店街などです。
(東京都北区・41歳女性)
*北九州文学サロンで開催された講演会に参加しました。とても面白かったです。周囲には「雲のうえ」を欲しいという方が多数います。12名+私で計13冊、27号をいただき、配る予定です。末長く本誌が発行できることを祈念しています。
(門司区・65歳男性)
*北九州という名前は以前から知っていましたが、関門海峡へ来てみるといろんな感動がありました。「雲のうえ」に出会って、カレリストから店を選んで食事を楽しみました。小倉や門司で出会ったみなさんに親切にしてください。再度、当地に行きたいです。
(三重県伊勢市・50歳女性)
*毎回の発行が待ち遠しくて、八幡西区役所の窓口には、「まだですかねー」と聞きに行きます。27号は11

月中旬と聞いて、カレンダーに書いていたのに、すっかり忘れていました。やっぱり歳かなー。でも残っていたのでうれしかったです。
(八幡西区・83歳男性)
*門司出身の彼女と付き合ひ始め、北九州市に興味を持ち、週末などに小倉や門司港に出かける機会が多くなりました。そんな時に、立ち寄り道の駅で手に持ったのが『雲のうえ』でした。写真も多く、とても引き込まれる文章で大ファンになりました。今後「アートスポット」や、地元土産、特集を取り上げて欲しいです。(福岡県南区・31歳男性)
*初めて手にしました。27号とは随分歴史があるのですね。もつと早く知っていたらと残念です。遠方に住んでいるので2年に1度くらいしか里帰りできなくなり、懐かしさがこみ上げてきました。せつかさの立派な冊子、しかも無料、もつとみなさんに知ってもらえたら、なんと素晴らしいことか!
(岩手県盛岡市・54歳女性)
おたよりをお待ちしております。綴じ込みはがきをご利用ください。掲載させていただいた方には、小さな記念品を差し上げます。

次号予告

豊かなめぐみ。



最新の発行情報は、北九州市にぎわいづくり懇話会ウェブサイト(<http://lets-city.jp/>)でお知らせしていきます。

*バックナンバー

- 『雲のうえ』21 特集:海を渡ってきた北九州人。
- 『雲のうえ』22 特集:北九州うどん。
- 『雲のうえ』25 特集:ザ・関門海峡。
- 『雲のうえ』26 特集:工業都市の工業学校。



「雲のうえ」27 特集:幸福の黄色いカレー!

『雲のうえ』を送付希望の方は、お名前、ご住所、連絡先の電話番号、ご希望の号を明記のうえ、1～2冊/250円分、3～4冊/380円分、5～6冊/570円分の切手を同封してお送りください。送付は1名様1号あたり1冊とさせていただきます。予定数に達した場合は終了させていただきます。HPで在庫状況を確認のうえ、お申し込みください。

〒802-0001 北九州市小倉北区浅野3-8-1
☎093-551-8152
北九州市産業経済局 MICE 推進課
『雲のうえ』送付係



No.1
それ以上を
目指して。



顧客満足度9年連続

第1位

2017年度JCSI(日本版顧客満足度指数)調査 国内航空



おかげさまでスターフライヤーは今回も顧客満足度第1位を受賞いたしました。



STARFLYER